消防体制は旧態依然

神本議員が指摘

（第一面からつづく）

矢野議員　老人福祉のホームヘルパーは一人だけだが新年度からどのくらいふやすのか

小林町長　管内で二名は四カ町村で、一名を増員したい

矢野議員　すくなくとも三名おかなければならないので要望する、失業保険の町での支給を前町長が断つたが汽車賃など二百万円くらいかかっている、こんごどうするか、独身アパートを士幌町でつくったが、かなり間借りをしており考えないか

小林町長　地元支給を実現したいとお願いしてきたが過去の感情のもつれもあつたが、事情が変化しており往復四日間以上でなければ道はとりやめの方向にあり、基本的に困難性がある四十六年には一、三六〇名おり再度お願いしたい、独身アパートについては四十八年度は勤労者福祉センターを考えており、このあととりくみたい

矢野議員　中川、本名、美濃三代議士もおり、往復四日間は理由にならない、強く要望したい

神本議員　町の農業振興基本計画では二百五十万円の所得が目標だが、豆類の価格不安定、貿易の自由化で非常に暗いがどう考えるか、肉牛を奨励するがさく乳牛がふえないかぎり専業はあり得ないのでないか、農業構造改善はこんご西部の芽登、喜登牛地区は事業ができるかどうか、できなければどうするか

富田助役　豆類の関係は価格が不安定で上昇は考えられず二一、二〇〇（ヘクタール）の耕地の生産性をあげるため基盤拡大と機械化の団地指定をうけてゆきたい、肉牛の関係は多頭化から生ずる副次的生産が望ましいが、ウラハラのさく乳牛が伸び悩んでおり農業開発公社からの導入をはかりたい、西部の芽登方面は参加農家がどの程度となるかだが、意向をとりまとめ地区指定をうけたい、それでできなければ団地指定をうけたい

消防長が非常勤では―

神本議員　道や国の指導による消防事務組合は町のプラスとなったかどうか、本部長も非常勤で未だにキチンとした体制がとれていない、よその町の顔色をみながらで前向きが後ろ向きである、一名ふえたが三町の事務を一手に引受けている、このままでよいか、消防団は依然として足寄町長の一翼となっている、どうするのか

小林町長　消防行政は指摘のように当初本部位置の問題をめぐって必ずしもシックリしないものもあるがこの点一応管理者として苦労があり、国、道の指導方針にそってゆけない点、消防長の非常勤、非常備の体制、事務の在り方も従来の在り方から抜け出せないがこんごは設立の趣旨、原点にかえり意志を統一し従来の慣習を早期に払拭できるよう幹部の理解を求めて話し合いをもちたい

西小学校をどうするか

神本議員　積極的に努力してほしい、教育行政について、来年度稲牛は小学校にあがるものがいないという、ラワンが六学級を維持できないという、西小学校と東小学校の問題を特別委員会で論議したが、市街地の在り方、西小をどの位置へか教育委員会として姿勢ができあがっていない、町長部局が先行しているのではないか

岡教育長　稲牛、ラワン中足寄の三校が一校となつても六学級は困難性があるが適正規模におさめたい、一校にまとめて一、二年後で複式になるが複々式化となれば問題となる、東小、西小の問題は特別委で方向づけて頂いたが、東小は町村合併の条件で存置し優秀な成績をあげ町のモデル校として前進しており、議会の決定を頂き新しい観点から適正規模の学校に通学区の変更はある程度忍んで頂きたい

新津教育委員長　西小の校地については清水教育長時代からで、東側校舎と体育館のあいだで三階建てあつたが、期成会の陳情を特別委が調査決定したので、その精神を尊重したい、教委としては才一候補地から才四候補地を求めて努力したが公式に回答を頂き四候補地とも断念せざるを得ない、町の案が示されたがその他に適地があれば別だが町の提示された土地（常盤高台）しかない、交通その他に問題があるが四十八年度に用地を決定したい

難しい陸別への配分

雪印工場の固定資産税

神本議員　雪印工場の固定資産税にまつわる問題を陸別町議会で配分について新聞にのっていたが明らかにしてほしい、自治法上から権限はどこにあるか、密約をしたのか

富田助役　地元新聞に出ていた陸別町議会の論議なので驚いたが、非公式の申し入れがあったが固定資産税の密約も内約もない、税財政の制度上できない、工場ができ市街化されると財政需要がふえる、五カ年間町独自の免税があり、三カ年は過疎法により交付税で七五%をホテンされるが、分配は法制上困難性があり苦慮している

神本議員　難しいどか苦慮するでなく、できないこである

小林町長　基本的にはそのとおりだが、経過として本町へ雪印基幹工場の誘致を三町で運動したが、最終的に本別は明治乳業となり足寄工場の集荷区域は二町となり、陸別が一体となって協力を願った、その間に密約も内約もないが、陸別町の考え方としてはビート工場のときのような奨励措置で、雪印工場もそのハラづもりとして理事者や議会の幹部の方が参り話しをもたれた、議会の考え方をきき対処したい

神本議員　ビートの場合は本別が出したのではなく会社が増産協会に出した、固定資産税ではない、できないことである

湯浅議員　消防署の強化について新年度はどうするか、本別町の方が多く本部の方がすくない、町の広さからいって増強の考えはないか、本別町ではハシゴ車も年次的に入れるという、消防庁舎を役場の方へ考えているが、団員の住宅から遠く義勇消防の機能が阻害されるのでないか

小林町長　計画をもっており、人員、器材の点は計画どおりに財源を確保して対処したい、消防署の位置は将来の役場庁舎と関連して雪印工場跡地となるが、非常勤の方は現位置がよいがこんご理解を頂きたい

湯浅議員　理解を求めるというどう解決するか、非常勤はおくれる、常備は一台しか出動できない、四台あるが四分の三はおくれる

小林町長　一朝有事のさい常備体制の強化で補いたい、中島通りの改良、舗装をするので心配は致命的なものではない

斉藤消防署長　約五、六百㍍離れ、かけつけがおくれるが、北区、南区の場合団員宅まで消防車を所定の場所を決めておけばカバーできる

里見ガ丘公園の施設に

阿部議員　民間バスの料金改正を阻止できないか、高校生の通学費助成対策はどうか

富田助役　公共料金として全国町村会でも対策を要請している、国の権能なので国を通じてはたらきかけるが、利用者の住民の代表としてとりくみたい、家計におよぼす影響、足の対策として季節保育所の園児は考えており、義務教育には通学費補助があるが、高校生一般への措置はとっていない

阿部議員　時刻改正で終便が四時となり、高校生のクラブ活動もできない、なんとか行政措置を講じて頂きたい

香川議員　里見ガ丘公園の施設は大巾な変更をみたが、変った要因はどこにあるか、食堂組合の大多数が参加して積極的な熱意だったが、このようになぜ足が乱れたのか、理事者に分析の甘さがあったのではないか、食堂組合に任せればよいということだったのか、特定の住民に利益を目的として永久的施設は慎重にやるべきでないか

土田商工観光課長　マリモ荘の進出構想をさげてもらい、地元の食堂組合の積極的な姿勢で九九%資金の導入も確実との釈明もあり計画構想をコンサルタントの指導うけてやれると判断し議会で協議した、見通しの甘さもあるが全体構想は変らない、最近活発にスムーズに進んでおり期待ができる、二月ごろ着工し七月オープンとなる、組合以外の六戸程度の出店は木彫民芸品、園芸樹木、山菜類、石材加工、安久津氏食堂などで、貸付方法は右側の一部駐車場を除き、普通財産として適正時価で貸付する

香川議員　町民の期待を裏切らないようにしてほしい、建物の制約はないのか

土田商工覧光課長　建物施設は美観、環境の維持で制約する、面積は間口三間奥行き四間の十二坪となる

香川議員　来年度より〇才児の医療無料化の規模はどうか、所得制限をするかしないか

富田助役　乳児の医療無料化は〇才児を四十八年度から実施するなら前年の受診からみて国保五十万円くらい、他健保八十万円の計百三十万円で、所得制限はもう少し検討したい

香川議員　〇才児は比較的勤め人に多い、老人とは違い所得制限をすべきではない

不動産についての御相談は
調査　売買　あっせん　管理　分譲
代行　登記　損害保険　代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目　T 二三四五

大自然のなかの人工美
ーいで湯のふるさとー
観光と保養の
♨芽登温泉
足寄町芽登　T 二八五五

技術に生きる！
世界の ビクター
テレビ
ラジオ
レコード
ステレオ
ーあらゆる電気器具ー
有限会社
ミネ・デンキ
足寄町三笠通り　T 2342

庭石は道東随一の当会社へご用命下さい
造園　土木　造林　造材　請負
有限会社　大浦建設
足寄町芽登　T 一一
連絡所　釧路スバル上原社長宅　T 四一ー七六六四
帯広市　原田発宅　T 四ー四六三五
芽室町関山　大野政夫宅　T 二五二ー
池田町　中野直次宅　T 二ー八二四六

新しい機械と技術で！
整備　板金　塗装
ムトウ自動車工業
板金・塗装　武藤悦啓
二級整備士　武藤衛賢
足寄町農業共済組合前　T 二五七八